

3-③

SOSを見逃さない

■対象：乳幼児～中学生の親

■時間：80分程度

■手法：ラベルワーク

学習のねらい 子どもが発するSOSのサインにはどんなものがあるかを出し合い、整理して、そのSOSのサインを敏感に感じ取るため、親としてできることを考える。

準備するもの コーナー表示 付箋（グループ数×50枚程度） 模造紙（各グループ1枚）
マーカー 筆記用具 ワークシート ホワイトボード（風船） 時計（ストップウォッチ）

	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、子どもが発するSOSにはどんなものがあるのか、みなさんで一緒に考えていきたいと思います。そして、そのSOSのサインを敏感に感じ取るため、親としてできることを考えていこうと思います。 その前に、ちょっと私と遊びにおつきあいください。</p>		
15分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①握手リレー（親学プログラムP100） ②4つのコーナー（親学プログラムP102） 【質問例】 (1)「ケーキが大好きだ」 (2)「私の子育ては完璧だ」 (3)「子どものことはよくわかっているつもりだ」 (4)「いじめはよくないことだ」 ③自己紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質問は、おもしろくて単純なものからテーマにつながるものへと展開する。 ・状況に応じてインタビューを取り入れる。 ・最後の質問後、グループ分けにつなげる。 ・「子どもとのかかわりで大切にしていること」をテーマに自己紹介するとよい。 	コーナー表示
55分	<p>《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>①個人で付箋に考えを記入する ②グループで付箋を分類し、島をつくる ③島を整理して、見出しをつける ④グループ発表を聞く ⑤親としてできることを考えて、ワークシートに記入する ⑥グループで話し合う ⑦グループで話し合ったことを代表が発表する ⑧まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①では、思いつくままにたくさんの情報を書くように伝える。 ・④は、代表的なグループに発表してもらってもよい。 ・⑤では、ラベルワークの成果物を参考にしながら、考えるように伝える。 ・⑦では、グループの話し合いの要点を簡単に発表してもらう。 ・発表のキーワードをホワイトボードに記入するとよい。 	付箋 筆記用具 模造紙 マーカー ワークシート ホワイトボード
8分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①学習全体をふり返って、心に残っているキーワードをワークシートに書く ②参加者それぞれの想いをわかちあう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己をふり返り、今後について考える時間をとる。 ・時間があれば風船に書いてふり返りをするとよい。 	（風船）
2分	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか？ 子どもが発するSOSには、いろいろなものがあり、子どもによって、状況によって、その表し方は違っているんですね。 私たち親には、子どもを守る責任があります。今日の学びを日々の暮らしの中で活かし、子どもたちがのびのびと育つ環境づくりにつなげていきましょう。</p> <p>《講座の最後にルールとマナーを確認しましょう》</p>		

3-③ SOSを見逃さない

① 個人で付箋に考えを記入する（10分）



これから、子どもが発するSOSについて、みなさんと一緒に考えていきます。
 子どもは、よく観察するといろいろなサインを出しています。何かいやなことがあったり、困ったことに巻き込まれそうになったりすると、SOSのサインをよく発信すると言われています。
 今日は、どんな形でSOSのサインを出すと思われるのか考えてみましょう。付箋に思いつくままに簡単に書いてください。ただし、1枚の付箋には1つのことを書いてください。例えば…（下記参照）
 個人作業です。時間は10分程度です。できるだけたくさん付箋に書いてください。

※ 例えば…

食事の量が減る

○ 1枚に1つのこと

食欲がなく、顔色が悪い

× 1枚に複数のこと

② グループで付箋を分類し、島をつくる（15分）

次にグループでの活動に移ります。まず、グループ内で発表の順番を決めてください。最初の方が、1枚の付箋を模造紙の上に貼り、書いたことを簡単に紹介してください。その時、メンバーの中に似た内容の付箋があれば、それも紹介しながら、その付箋の近くに、あるいは、重ねて貼ってください。

似た内容の付箋がなければ、次の方が別の付箋を1枚出し、同じように紹介し、似た付箋があれば、近くに貼っていきます。これを繰り返して、模造紙の上いくつもの付箋の島（仲間）をつくっていきましょう。時間は15分程度です。



③ 島を整理して、見出しをつける（10分）



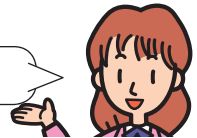
今、模造紙の上に、いくつもの島（仲間）ができていていると思います。その島の特徴を表す見出しを話し合っつけてみましょう。

その際、島と島の間を関係を考えて、島の位置も、もう一度整理してみましょう。時間は10分程度です。

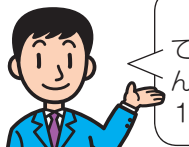
※ 時間がある場合は、簡単な図や絵に表すと関係の構造がわかりやすい。

④ グループ発表を聞く（5分）

それでは、グループ活動の様子を発表していただきます。（代表グループでもよい。）



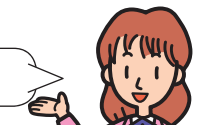
⑤ 親としてできることを考えて、ワークシートに記入する（3分）



子どもの発するSOSには、いろいろなものがあるんですね。その中には「友達関係がうまくいっていない時に発するSOS」「いじめにかかわるSOS」も含まれていると思います。それでは、そんなSOSを敏感に感じとるため、親としてできることを具体的に考えて、3分間程度で、ワーク1に書きましょう。

⑥ グループで話し合う（5分）

それでは、親としてできることをグループで話し合しましょう。時間は5分間です。



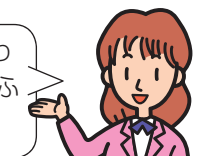
⑦ グループで話し合ったことを代表が発表する（5分）



話し合いの要点を代表の方に簡単に発表していただきます。（代表グループでもよい。）

⑧ まとめ（2分）

毎日の生活の中で、親が普段とは違うわが子のそぶりを見逃さないように意識を改めれば、わが子の発するSOSを敏感に察知することにつながるんですね。それでは、今日の学習全体を振り返って、ワーク2（風船）に、心に残っているキーワードを書きましょう。



3-③「SOSを見逃さない」ワークシート

SOSを見逃さない

ワーク1 子どもの発する“SOS”を敏感に感じとるために、親としてできることを具体的に考えて書きましょう。



ワーク2 今日の学習全体をふり返って、心に残っているキーワードを書きましょう。
(漢字1字でも 熟語でも 短い言葉でも 短い文章でも 絵を描いていただいてもかまいません)

